

わたしの力を、みんなの笑顔へ―途上国支援の仕事を

JIN

JIN CORPORATION

既存のやり方を打破したい

開発コンサルティング業界に、またひとつ意欲と元気に満ちた、新進気鋭の集団が誕生した。2011年創設の株式会社JINである。

社員は現在4人。大野康雄代表は大学卒業後、青年海外協力を皮切りに、国際協力の多様な現場に立ち続け、JIN設立直前までODAソフト・コンサルティング企業の経営管理部長として敏腕を振るってきた。他の社員も大野氏を慕い、思いをひとつにして集まったメンバーである。「大手コンサルタンのやり方を真似るのではなく、むしろその様式を打ち破り、小さい会社だからこそ出来る、もっと自由度の高い、面白いことをやりたかった。志を同じくする他社ともタッグを組みながら暴れ回りたい。私たちが熱くなることで、業界を活性化していきたいと考えている」と大野代表は意欲を見せる。

社名の「JIN」は、思いやりの気持ちをもとにした優しい心、強く正しい生き方を表す「仁」からとつ

たもの。「わたしの力を、みんなの笑顔へ―途上国支援の仕事人」という同社のキャッチコピーに、その思いが色濃くにじんんでいる。JIN設立に際して、まず「自分たちが理想とする会社を作りたい」という意識が「原点」としてあり、そのためには「組織の外に」歩飛び出し、ゼロベースの裸からスタートする必要がある」と大野代表は語る。

また「企業には公器としての社会的な使命がある。短期的な収益を追うだけでなく、社会貢献にも真摯に向き合いたい」という。社員が会社業務の一環として東北大震災のボランティアに参加しているのが、その考えを具現化したものと言えるだろう。

今後の業務展開は、すでに経験を積んだJICA案件でベースを固め、そのうえで人材拡充を図りながら、社業の発展を期していく考えだ。「規模の小さい調査案件をこなしながら、いずれは業務実施型の大きな仕事を取りにいきたい」と大野代表は話す。が初めての単独案件として、スーダ

ンのプログラム形成調査を受注するなど、その動きは徐々に加速している。今後は同社が「絶対的な自信」を持つという豊かな人間性を伴った「マネージメント力」を多様な分野で発揮していく方針だ。

当面の目標は、同じ意気込みをもった仲間の採用を進め、社員15人規模の売上2億円で、遅くとも2年後の達成を目指す。人材的には総括クラス2人、副総括クラス2〜3人の体制を整備し、積極果敢に大型案件に打って出たいとしている。



現地のパートナーや住民との信頼関係を一番大切にしている(フィリピン)



■ Company Data

株式会社 JIN

JIN CORPORATION

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-10

尾熊ビル3F-B

TEL 048-650-0400

FAX 048-650-0401

URL <http://www.jincorp.jp>

募集職種：開発コンサルタント（募集時HPに掲載）

募集人数：募集時に指定／設立：2011年

従業員数：4名

代表者：代表取締役 大野 康雄

事業分野：農業・農村開発、人材・組織強化、保健衛生、自然環境保全ほか

代表取締役 社長

大野康雄さん(46歳) Ohno Yasuo

■ Career Path

- 22歳 岡山大学農学部卒業後、青年海外協力隊(稲作)でリベリアへ
- 26歳 ミクロネシアで青年海外協力隊調整員
- 28歳 青年海外協力隊事務局に勤務
- 31歳 ミコーネル大学大留学
- 37歳 JICAジュニア専門員、業務調整員を経て、ソフト系開発コンサルティング企業に入社
- 45歳 株式会社JINを設立

